

豊明市地域公共交通計画（案）パブリックコメントの提出意見一覧及び市の対応

令和4年1月26日から2月25日まで豊明市地域公共交通計画（案）に対するパブリックコメントを実施したところ、1名の方から53件の意見が提出されましたので、各意見に対する豊明市の対応又は考えについて公表します。

連番	頁	箇所	意見	豊明市の対応又は考え
1	1	(1) 計画策定の背景と目的	改正活性化再生法を受けての、豊明市地域公共交通網形成計画の次期計画としての性格が強いものと推察しますので、背景として改正法・網形成計画についても触れた方が自然かと思えます。	【修正なし】 確かに法改正や前計画の計画期間満了が本計画策定のきっかけではありますが、第5次豊明市総合計画に定めるめざまの姿の実現に向けて、多様な主体が一体となってその姿を目指すことが、計画策定の背景であり、目的であると考えております。
2	1	図 地域公共交通網形成計画の位置づけ	誤記かと存じますが、図の標題は「豊明市地域公共交通計画の位置づけ」が適正かと思えます。	【修正あり】 図の標題を「豊明市地域公共交通計画の位置づけ」に修正します。
3	2	…第5次豊明市総合計画、第3次豊明市都市計画マスタープランといった上位計画の…	1頁の説明及び図では、都市計画マスタープランについては完全上位計画ではなく、並列の関連計画として扱われています。整合を取るため、ここでも 上位・関連計画 とした方が適正かと思えます。	【修正あり】 「上位計画」を「上位・関連計画」に修正します。
4	2	…概ね5年後を見据えて2022年（令和4年）～2026年（令和8年）度まで…	計画期間満了の令和8年度までは5年間ですので、『概ね』は不要かと思えます。また末節の話ですが、『年度』で1単語であること、『～』と『まで』が混在していることを考慮し、「概ね5年後を見据えて2022年度（令和4年度）から2026年度（令和8年度）まで…」といった表記が適正かと思えます。	【修正あり】 「概ね」を削除し、計画期間の表記を「2022年度（令和4年度）から2026年度（令和8年度）まで」に修正します。
5	2	計画期間表	表の標題は不要でしょうか。 また、各計画名は正式名称として『豊明市』を挿入した方が適正かと思えます。	【修正あり】 正式名称に修正します。
6	4	市民団体・企業・事業所・市・県・国などの各主体が…	計画書に記載すべき主体としては、「個人」「豊明市」が特に重要と感じられますので、「個人・市民団体・企業・事業所・市・県・国などの各主体が…」と明記をした方が自然かと思えます。	【修正あり】 総合計画内では「個人」と表記されておりますが、本計画内で「個人」と表記をした場合に意味が伝わり辛いため「市民」と表現し、「市民」と「市」を併記する形に修正します。
7	8	1) 人口の推移と見通し	標題として『人口の推移』と謳っている中、本文では人口割合にしか触れていない点が気になります。本文中で「2010年以降は人口が減少」と総人口推移に触れるか、標題を「人口割合の推移と見通し」とした方が自然かと思えます。	【修正あり】 標題は原案のままとし、「また、2010年（平成22年）以降は、総人口が減少しています」と追記します。
8	9	図 人口密度とバス路線の状況	市街化区域の赤線がバスルートと同調してしまっており、認識が困難に感じられます。配色等を再検討してはいかがでしょうかと思えます。	【修正あり】 配色を変更し、認識できるように修正します。
9	9	※鉄道駅から800m、バス停から300mを公共交通利用圏域と設定	距離の根拠が気になりますので、用語集でも明記してはいかがでしょうかと思えます。 例：公共交通利用圏域…『都市構造の評価に関するハンドブック』（国土交通省）における 徒歩圏域 。鉄道駅から800m、バス停から300m。 （上記資料が出典元であれば、高齢者徒歩圏500mが考慮されておりましたが…）	【修正あり】 用語集に「公共交通利用圏域」を加えた形に修正します。
10	10	①目的別トリップ特性	本文の着地点と、公共交通との関連性が読み取りづらく感じられます。代表交通手段別トリップとのクロス集計を行うなどにより、「自転車利用が主たる登校目的が減少」「自動車利用が主たる業務目的が減少」「相対的に公共交通の需要が増加」など、公共交通との関連性に言及してはいかがでしょうかと思えます。	【修正なし】 豊明市の概況整理の中で都市交通特性を整理しているものであるため、本記載ページで公共交通との関連性を言及することまでは想定していません。

11	10	②代表交通手段別トリップ	自動車、徒歩、自転車の変遷について触れられていますが、公共交通についても言及した方が自然かと思えます。	【修正あり】 「鉄道・バスの割合は大きく変化しておらず、自動車が・・・」に修正します。
12	11	また、バス交通は、名古屋市営バス、名鉄バス及び豊明市が運営するコミュニティバス「ひまわりバス」が…	大府市ふれあいバスも走っているとのことですので、「…及び「ひまわりバス」を始めとした豊明市や周辺市町が運営するコミュニティバスが…」とした方が適正かと思えます。 併せて、下の図の凡例とバス路線名が異なっており「どれが名鉄バス路線なのか分からない」など煩雑になっているため、表現を統一してはいかかかと思えます。	【修正あり】 「・・・名鉄バス及び「ひまわりバス」を始めとした豊明市や周辺市町が運営するコミュニティバスがサービスされています。沓掛エリア及び仙人塚・間米エリアでは「チョイソコとよあけ」が運行しています。」に修正します。
13	11	図 豊明市周辺公共交通網図（2021年12月現在）	前後駅 の箇所が抜けておりますので、図中に明記した方が適正かと思えます。 また、ひまわりバスについて、赤ルートが緑色、青ルートがピンク色、紫ルートが黄色、緑ルートが青色と、非常に煩雑に感じられます。オリジナルデータが触れるのであれば、配色を再検討してはいかかかと思えます。	【修正あり】 前後駅を明記し、各ルートに対応した配色に変更します。また、チョイソコの運行エリアについても色付けをします。
14	12	各駅の1日当たりの運行本数 に着目すると、豊明駅は222本、前後駅は385本、中京競馬場前駅は191本が…	下の表から直接読み取れる数値ではないため、双方向の合計値であることを明記した方が自然かと思えます。	【修正あり】 「名古屋方面及び東岡崎・豊橋方面の合計本数が、豊明駅は222本・・・」に修正します。
15	12	表 駅間運賃	東方向への運賃は、豊橋も（または知立、新安城も含めて）追記してはいかかかかと思えます。	【修正あり】 快速特急での概ね30分以内の移動圏域として、知立を追記します。
16	14	表 豊明市及び周辺市町に所在するタクシー営業所の保有車両台数	『計』の下に『みよし市』『刈谷市』が並んでいることが不自然に感じられます。いずれも周辺市町ですので参考とせずとも良いようにも感じますが、参考と分けるのであれば、『計』の下に（以下、参考）などと書いた空白行を挿入してはいかかかかと思えます。	【修正なし】 周辺の名古屋市交通圏で整理しています。
17	16	鉄道各駅 の年間乗車人員は…	特に豊明駅については2010年までも増加傾向にあり、鉄道『各』駅の傾向とは十把一絡げにできないため、「 市内の鉄道駅 の年間乗車人員は…」などと合計についての表記とした方が適正かと思えます。	【修正あり】 「市内の鉄道駅の年間乗車人員は、・・・」に修正します。
18	16	豊明駅は利用者の約5割、中京競馬場前駅、前後駅は約8割が定期利用となっています。	図で段落が切れた後には主題が欠落しておりますので、「 駅別定期率 については、豊明駅において利用者の約5割、中京競馬場前駅、前後駅において約8割が定期利用と…」とした方が自然かと思えます。	【修正あり】 「駅別定期率については、豊明駅の利用者の約5割、中京競馬場前駅、前後駅の利用者の約8割が定期利用となっています。」に修正します。
19	19	<市民アンケート>	「1362通」が赤字となっていますので、黒字が適正かと思えます。	【修正あり】 黒字に修正します。
20	36	【指標】公共交通の年間利用者数（人/年）	最終評価には2019年の数字を使用しているため、最終評価年次は[2019(R1)]が適正かと思えます。	【修正あり】 図表中の最終評価年次を「2019(R1)」に変更し、図表下の*印以下を「2020(R2)は新型コロナウイルスの影響が大きかったため、2019(R1)の数値で評価」に修正します。
21	39	個別課題2	乗り継ぎやダイヤ調整に関する課題は、集約課題②④にも関係するものと思いません。	【修正あり】 集約課題②④にも関係するよう修正します。
22	39	個別課題6	地域の主体性に関する課題は、集約課題③とは深く関係せず、集約課題⑤に關係するものと思えます。	【修正なし】 利用促進は、地域公共交通維持への取組参加意識を促す効果があると考えておりますので、集約課題③にも関係性はであると認識しています。
23	39	個別課題7	公共交通サービスの確保・維持に関する課題は、集約課題①にも関係するものと思いません。	【修正あり】 集約課題①にも関係するよう修正します。
24	39	個別課題8「…環境にやさしく健康増進に資する公共交通への利用転換…」	公共交通と健康増進との関連性が理解し難く感じられます。徒歩・自転車を含めた自動車以外の移動手段全般への転換、という事であれば、そのように明記した方が自然かと思えます。	【修正なし】 駅まで自転車移動、バス停まで歩いて移動すること等を考えると、公共交通は健康増進に資すると考えております。

25	39	個別課題9	多様な公共交通相互の連携に関する課題は、集約課題①⑤にも関係するものと思います。	【修正あり】 集約課題①⑤にも関係するよう修正します。
26	39	個別課題14「…東部、南部に交通空白地域が残存…」	9頁の図を見ると、南部方面は鉄道駅を中心に比較的公共交通網が整備されているように感じられます。逆に北部においては、人口密度40～60人/haであって高齢者利用施設なども在する区域を始め、沓掛町中心に公共交通でカバーできていない区域が広く感じられます。集約課題②にもあるように北部・東郷町方面の強化を検討されてはいかがかと思えます。	【修正あり】 9ページの人口カバー率のほか、11ページの豊明市周辺公共交通網図でも交通空白地域の判断をしており、チョイソコとよあけの運行エリアを新しく色付けしました。平成31年4月1日実施のひまわりバス路線再編に合わせて、交通空白地域をチョイソコがカバーしています。個別課題についても、その旨読み取れるように修正します。
27	39	個別課題15	市内の主要集客施設を連絡する路線に関する課題は、集約課題①にも関係するものと思います。	【修正あり】 集約課題①にも関係するよう修正します。
28	39	個別課題18、個別課題19	バス停設置箇所の見直しに関する課題は、集約課題⑤にも関係するものと思えます。	【修正あり】 集約課題⑤にも関係するよう修正します。
29	39	個別課題20	「MEGAドン・キホーテUNY豊明店」等の市内を含む商業施設と公共交通との連携に関する課題は、集約課題①にも関係するものと思えます。	【修正あり】 集約課題①にも関係するよう修正します。
30	39	個別課題25	乗り継ぎ・待合環境の改善に関する課題は、集約課題③にも関係するものと思えます。	【修正あり】 集約課題③にも関係するよう修正します。
31	39	個別課題30	現行サービスの維持に関する課題は、集約課題①にも関係するものと思えます。	【修正あり】 集約課題①にも関係するよう修正します。
32	42	自家用車利用の削減による交通混雑の緩和を図るためには、市民ニーズと合致したバスサービスの提供を検討・実施	特に豊明市周辺の地域において、最も深刻な渋滞要因は境川の渡河部に依るものと感じます。イオンタウン刈谷への需要が高く、後段には「刈谷市との相互連携」との記載もありますので、「名豊道路等を活用し、とりあえず川を超えて各市のバス停を繋ぐ」ようなロングトリップのバスについて検討されてはいかがかと思えます。	【修正なし】 ご意見ありがとうございます。いただいたご意見も参考に今後検討していきたいと思えます。
33	42	前計画で位置づけた広域連携の強化に資する事業を継続する必要	本計画書だけではどんな事業があったか分かりかねますので、「○○や○○といった、前計画で位置づけた広域連携の強化に資する事業を継続する必要」と、例示をしてはいかがかと思えます。また、『前計画』の定義が示されておりませんので、前計画が豊明市地域公共交通網形成計画である旨を明記された方が自然かと思えます。	【修正あり】 ご指摘部分の3行前に事業は明記しているため重複してしまうことと「前計画で」といった表現はできる限り控えているので、標題及び本文中の「前計画で位置づけた」を削除し、意味がより分かりやすくなるよう「よって、・・・」の一文を次のように修正します。 「よって、名古屋市隣接部での名古屋市営バスとの相互連携や、市北部及び東部における隣接市町（東郷町、大府市、刈谷市）との相互連携など広域連携の強化に資する事業については、市民アンケート結果から見た広域的な移動ニーズや、豊明市地域公共交通網形成計画の目標値の達成度等を踏まえ、継続する必要があります。」
34	44	■施設整備による安全・安心な利用環境の整備	本文が『安全・安心』に着目したものではないため、結論部に記載されているように「■施設整備による 快適・円滑 な利用環境の整備」とした方が自然かと思えます。	【修正あり】 結論部に合わせ「■施設整備による 快適・円滑 な利用環境の整備」に修正します。
35	46	…MaaSの実装に向けた取組みが各地で実証されています。	市の計画書にあっては、『各地』が『市内各地』なのか『全国各地』なのか不明瞭で誤解を招くおそれがあるため、明記をされた方が適正かと思えます。	【修正あり】 「全国各地」に修正します。
36	47	…交通空白地が残存する東部、南部地域の移動ニーズに応じた、…	連番26に同じ	【修正なし】 前述のとおり、東部・南部に交通空白地が残存していると認識しています。
37	50	図 豊明市の公共交通ネットワークイメージ	『都市間幹線』『広域幹線』等の定義が無く、後から次頁で該当路線の解説が入る構成となっています。簡単のため、図と表を1頁内に収めるか、あるいは、先に表で定義付けをした後に図を提示してはいかがかと思えます。	【修正あり】 先にイメージ図を載せる方が分かりやすいと考えているため、順序は原案のとおりとしますが、イメージ図に「矢印で表している機能分類ごとの説明については、P51を参照」の注釈を追記します。

38	52	集約課題③「…情報提供とサービス維持に向けた利用促進等」	「等」が赤字となっていますので、黒字が適正かと思います。	【修正あり】 黒字に修正します。
39	53	※2	※2は【指標2】に添字されていますが、【指標1】の現況値が適正かと思います。	【修正あり】 指標1に付するように修正します。
40	54	名古屋市や尾三地区（豊明市、東郷町、みよし市、日進市、長久手市）、大府市等、市民の移動需要に対応した広域的な公共交通ネットワークの形成…	イオンタウン刈谷への需要が大きい結果が出ていますので、刈谷市も羅列の中で明記すべき対象かと思います。集約課題②に記載のとおり、連番32にて意見したような、東部方面へのネットワーク形成を検討していただきたく思います。	【修正あり】 「名古屋市、尾三地区、大府市、刈谷市等、市民の…」に修正します。併せて、集約課題②の本文中で初めて「尾三地区」という単語が出てくるため、当該部分を「尾三地区（豊明市、東郷町、みよし市、日進市、長久手市）」に修正します。
41	57	①わかりやすい情報提供	本文からは『情報提供』は手段のひとつにすぎないように受けます。そのほかダイヤ調整や待合環境整備といった手段を用いての『取組みの方向性』としては「①公共交通の各路線相互の連携」とした方が自然かと思います。	【修正あり】 基本方針2は主にソフト事業による利用促進です。しかし、ご指摘のとおり情報提供が手段になった記載になってしまっているため、「わかりやすい情報提供」と捉えることができるよう次の表現に修正します。 ・公共交通利用者に対しては利便性向上につながる情報提供を行い、非利用者に対しては認知度の向上や利用のきっかけとなる情報提供を実施します。 ・バスの運行状況や経路検索、バス車両及び乗継拠点施設の案内表示など、わかりやすい交通案内を目指します。
42	57	②公共交通の利用誘導	感染症に係る安全・安心対策としては、41頁にも「可能性を検討します」と記載いただいているとおり、『混雑状況の情報提供』が重要であり、市民からも求められているものです。施策として明記をした方が自然かと思います。	【修正なし】 新型コロナウイルスの状況を見ながら、感染予防対策の一つとして検討をしていく段階のため、現時点では明記していません。
43	60	行政と交通事業者の連携の下、車内の消毒・換気等を継続的に実施します ・消毒・換気等の継続	連番42と同様、『混雑状況の情報提供』の施策を明記をした方が自然かと思います。	【修正なし】 新型コロナウイルスの状況を見ながら、感染予防対策の一つとして検討をしていく段階のため、現時点では明記していません。
44	60	行政、企業、関係団体の連携の下、企業と連携した取り組みを実施します 「ひまわりバス等の…」	「等」が赤字となっていますので、黒字が適正かと思います。	【修正あり】 黒字に修正します。
45	60	市民と行政の連携の下、市民による各種活動を実施します 「…清掃、緑化等の環境整備を実施します。」	清掃、緑化等の環境整備を実施主体は誰になるでしょうか。標題のとおり、市民によるものであるならば、行政計画としては『実施』ではなく『促進』が適正かと思えます。	【修正あり】 標題と本文の結びを「促進します」に修正します。
46	69	公共交通の利用誘導	連番42と同様、『混雑状況の情報提供』の施策を明記をした方が自然かと思います。	【修正なし】 新型コロナウイルスの状況を見ながら、感染予防対策の一つとして検討をしていく段階のため、現時点では明記していません。
47	72	表 計画の評価のスケジュール	基本方針ごとのKPIはアンケート等の個別調査を含むため、5年後の評価と推察しましたが、PDCAは単年度ごとに実行する、という認識でよろしいですか。そうした場合に、毎年評価項目とはどういったものになりますでしょうか。例えば事業者の営業実績のみでは、仮に遅れが生じた際に「どの分野でネジを巻くべきか」など各施策に具体的にフィードバックをするのが難しいのではないかと思います。	【修正なし】 認識のとおり、PDCAは豊明市地域公共交通活性化協議会の中で毎年度実施します。また、基本計画ごとの評価項目は、毎年度検証できるもので設定しています。各種評価指標と個別事業の評価・検証は、アンケート調査も含めて毎年度実施します。
48	74	…本市人口は、第5次豊明市総合計画で2026年（令和8年）の目標が71,000人とされており、…	「図 将来推計の推移（第5次豊明市総合計画）」によると、本市人口は令和8年に65,740人、吹出のある令和7年においても67,659人とされており、71,000人の根拠などはありますか。	【修正なし】 『豊明市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略』において、目標の合計特殊出生率1.8や、社会移動の変化等を考慮の上、71,000人を定めております。詳細な根拠については、『豊明市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略』の第3章をご参照ください。
49	74	2019年（令和元年）の公共交通全体の年間利用者数1,474.4万人×計画期間における本市人口の増減率（2025/2020の値）1.042=1,536.4万人	公共交通の利用者数を2019年から引く張るのであれば、人口増減率も2025/2019とした方が適正かと思います。	【修正あり】 2019年からの人口増減率で再計算し、目標値を修正します。

50	75	表 豊明市地域公共交通計画における指標の目標値	総計と年次がずれるために、目指そう値を伸び率で延長し、目標値とすることは理解できませんが、評価のためのアンケート自体は第5次総計満了後のR8年度にも実施されるのでしょうか。	【修正なし】 同様のまちづくり指標が設定されれば、例年同様に実施します。次期総合計画の指標に変更があった場合については、個別で最終評価のためのアンケートを実施する予定です。
51	76	…本計画における目標値は、5年間の事業の実績値累計として、4年間の平均15件／年×5年間＝75件とします。	基本方針3の取組みの方向性として「連携・協働の『推進』」と謳っていることも踏まえると、出前講座や説明会といった行政主体のソフト施策に基づく評価指標としては、過年度平均と同値というのは非常に消極的に感じられます。4年間の最大実績である20件を平均として100件程度としてはいかがかと思えます。	【修正なし】 イベントや事業が自粛傾向になっていることも踏まえ、平均値は最低限保っていきたいとの考えで設定しています。
52	81 82	用語解説	『ウィズコロナ・アフターコロナ』『公共交通利用圏域』『ラストワンマイル』『ハード・ソフト』『マイバス意識』『ノンステップ車両』『アクションプログラム』などを追加してはいかがでしょうかと思えます。	【修正あり】 ご提案の用語について、用語集に追加します。
53	-	計画全体	施策・評価指標ともに現況保持に終始している印象が強く、やや残念に感じられます。市の公共交通に妥協せず向き合うのであれば、「PTPS活用による公共交通の円滑化」「特に北部・東部における新規公共交通ルートの提案」「サイクル&ライド促進に向けた駐輪場整備」等、実効性の高い施策もいくつか提示できるのではないかと思います。予算繰りや対外折衝などもあり、実現可能性に言及できない点は理解いたしますので『計画書に明文化』とまでは求めませんが、今後の実務にあたっては御一考いただけますとありがたく存じます。	【修正なし】 ご意見をありがとうございました。提案いただいた施策についても十分検討していきたいと思えます。計画にも記載しておりますが、今後はチョイソコをはじめとした公共交通と福祉で連携した取組を実施していく必要があると考えております。これからも本市公共交通行政へのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。